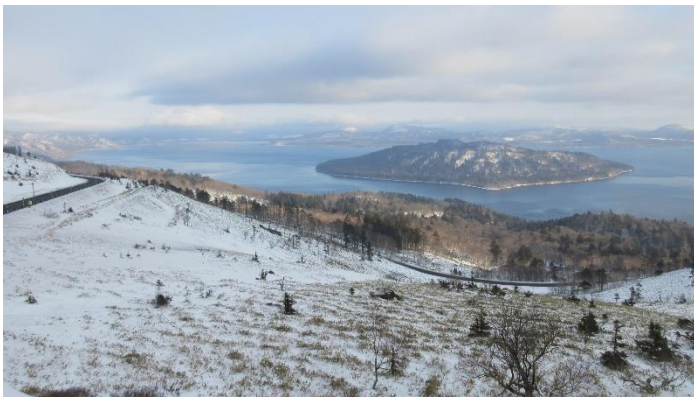


栃の木からの手紙

2024年 如月 2月号



- 4日： 立春
- 10日： 新月 :旧 正月1日
- 11日： 建国記念の日
- 19日： 雨水
- 24日： 満月 :旧 1月15日

1月1日夕方、部屋でラジオを聴きながら事務作業。気が付くと何やらラジオから強い口調の叫び声。ラジオドラマが始まったのかと聞いていたが同じ事を繰り返している。なんだろうな？おかしいな？と思いつつ地震とは思ってもせず、兎に角テレビをつけて見た。一瞬にしてラジオ放送を理解しテレビの前に立ち尽くし緊張に包まれて行く、能登半島の地震・津波放送。

2024年は甲辰。急速な成長と変化が起きる年。今迄の殻を破って変化・成長をする為に揺れ動き急激な成長と変化が起きる年。 正に1月1日に始まった、辰 + 雨 = 震。

この変化に対応する為に、自分自身を見詰め直し、足元をしっかりと踏み締めて行く事。とは言え、災害に遭われて亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。また、災害により平常な日常を失われた方々の一日も早い平安な生活をお祈りいたします。

- ▶ セット野菜
- ▶ 箱売り野菜
- ▶ 北海道フェア
- ▶ にんじん
- ▶ 玉ねぎ
- ▶ さつまいも
- ▶ じゃがいも
- ▶ ピーマン
- ▶ ほうれん草
- ▶ かぼちゃ
- ▶ 里芋
- ▶ 長芋
- ▶ ビーツ
- ▶ ごぼう
- ▶ しょうが
- ▶ にんにく(玉・無臭・黒・乾燥)
- ▶ 菊芋
- ▶ 自然薯
- ▶ 大豆・小豆
- ▶ きのこと

- 売り切れ! 入荷待ち!
- 長ねぎ
 - 枝豆
 - オクラ
 - 赤しそ

◆ 赤いビーツの酢酸醗酵品

び美っとビーツ 美一酢

- ・ サラダドレッシングに
- ・ ピカルスなど酢漬けに
- ・ 酢飯作りに酢別に
- ・ 納豆に入れて泡立てて

◆ 赤いビーツのつぶつぶ感

び美っとビーツ いれて紅

- ・ 北海道ビーツの最良
- ・ ビーツ繊維の良縁
- ・ パンダクッキーに
- ・ サンドイッチの具に
- ・ ドレッシング作りに

◆ 赤いビーツがキューブになったよ

び美っとビーツ 食べて紅

素材そのままの味
加熱処理済みだから
そのまま召し上がる
ことができます

- ・ サラダのトッピングに
- ・ カレーやポルシチに
- ・ スムージーにジャムに

北海道の阿寒国立公園にある日本最大のカルデラ湖の屈斜路湖
その北西側にある美幌峠・美幌町オホーツク地域の
寒暖の厳しい気候の中で育つ**真っ赤なビーツ**
オホーツク高橋農場産の有機ビーツが加工品になりました
ビーツの「び」 びほろの「美」 健康美・美しさの「美」
驚きの赤「び美っとビーツ」の誕生です!

健康成分が豊富なビーツを手軽に食卓に並んで欲しいとの願いから
地域企業、大学の協力で加工品の開発を行い、商品化となりました



高橋 祐司氏

「鮮やかな赤色」にひとめぼれ

オホーツク高橋農場では、畑作3品(ビーツ、馬鈴薯、小麦)を主に栽培しています。経営面積の1割程で有機JASを取得し、義父母の時代から約60年自然農法を続けてきました。赤ビーツの「鮮やかな赤色」に心惹かれ自然農法で栽培を始め、健康成分が豊富なビーツを手軽に食卓へ並ぶようにと加工品の開発を行いました。

オホーツク高橋農場産の有機赤ビーツを使用した加工品。今迄近隣地域での販売でしたが、この1月より、「ふるさと21」という自然農法・有機農産物専門のネット販売で購入できるようになりました。

1月18日午後には、久しぶりに美幌峠のレストハウスに納品させていただきました。

2月11日：建国記念の日 我がこころの建国記念日



年が改まる1月。生活が変わる春は、何かと前向きな気持ちになる時期。そして2月もそう。立春を迎え、陽射しの変化を感じる様になり明るく前向きな気持ちになります。

2月11日は政令で定める国民の祝日で、戦前は日本の古い書物で日本の初代天皇とされる神武天皇の即位日として1873年明治6年より紀元節と呼ばれていました。戦後1948年7月GHQにより紀元節は廃止され、今ある「**建国記念の日**」は1966年私が6歳の時に政令で定められ、「**建国をしのび、国を愛する心を養う日**」と謳われ、「**記念日**」ではなく「**記念の日**」となっています。

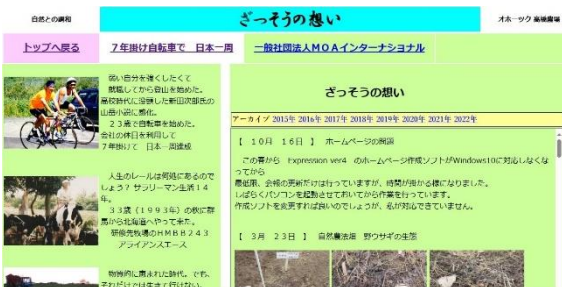
私が23歳になる頃、会社の上司に「自転車で日本一周をしたいから会社を辞めさせて下さい。」と何度も言っていたが辞める事にはならず、その内に新しい考え方が生まれてきました。それを行動に移したのが23歳になろうとする19

83年2月11日「我がこころの建国記念日」。

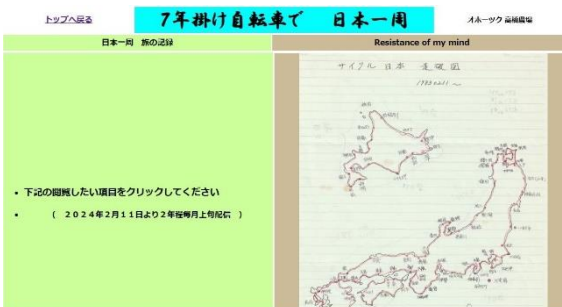
この日以来会社の長い休日には、30歳になるまでに日本一周を完了し、より良い自分になれる様に20代の良き出来事にしようと思い、分解して専用バックに入れた自転車を担いで電車に乗っている私がいました。



ホームページトップページ



ホームページざっそうのページ



ホームページ今回追加ページ

あれから40余年が過ぎた正月、思いもかけない出来事能登半島地震が起きました。13年程前には、東日本大震災。あの頃走った東北の海岸沿いの景色・出会った人・宿泊した海岸付近のYH…。そして今度は、能登半島…。当時の日本一周の記録は、4冊のファイルに整理してあります。このファイルを引っ張り出して眺めていましたが、この1月に数日掛けてWORDとPDFの電子データとして改めて保存し直しました。そして、オホーツク高橋農場のホームページに手を加えてこの日本一周の記録をホームページ上で閲覧できる様にしました。ホームページでの掲載は2月11日より始め2年程掛けて毎月上旬に追加掲載して行く予定です。

パソコンやスマホの検索画面で

「オホーツク高橋農場」を検索しホームページのトップページを開きます。トップページ中段の3枚の写真の内右の写真の「ざっそうの想い」を左クリックして「ざっそうの想い」のページに移ります。このページの上段の「7年掛け自転車で日本一周」を左クリックすると「日本一周記録のページ」に移ります。

作家新田次郎氏の山岳小説「孤高の人」の主人公「加藤文太郎」の行動から思い付いた日本一周の方法。当時、勤務先に迷惑を掛けずに私が選んだ方法。